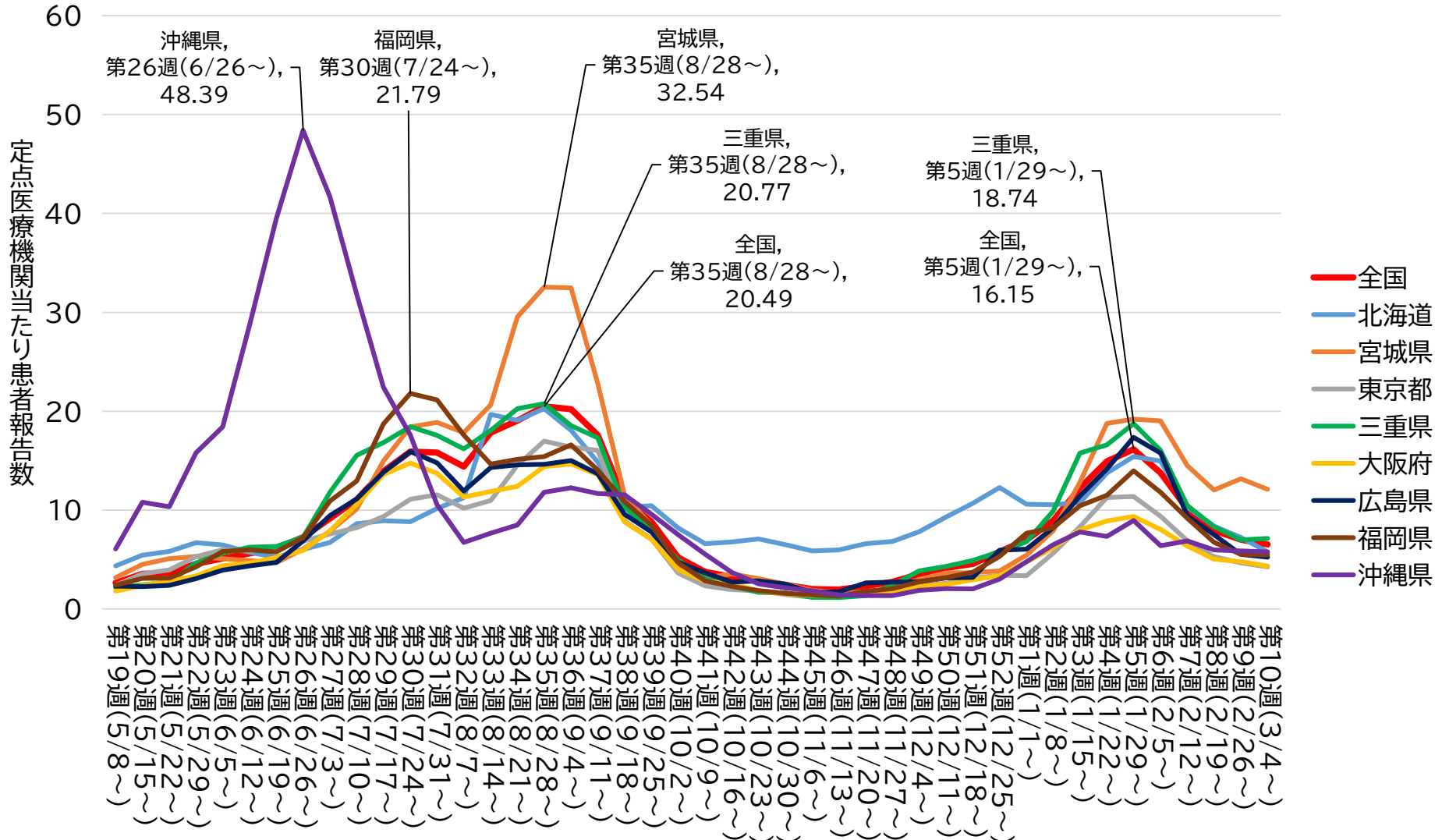


# 新型コロナウイルス感染症の状況等について

# 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）定点当たり報告数推移（全国）

2023年第19週～2024年第10週（2023年5月8日～2024年3月10日）

- ◆ 5類移行後、6月下旬頃から報告数は増加傾向となり、沖縄県や福岡県では全国に比べてピークの到来が早かった。
- ◆ 秋～冬にかけては、12月以降に増加傾向となり、全国的に1月下旬にピーク到来。

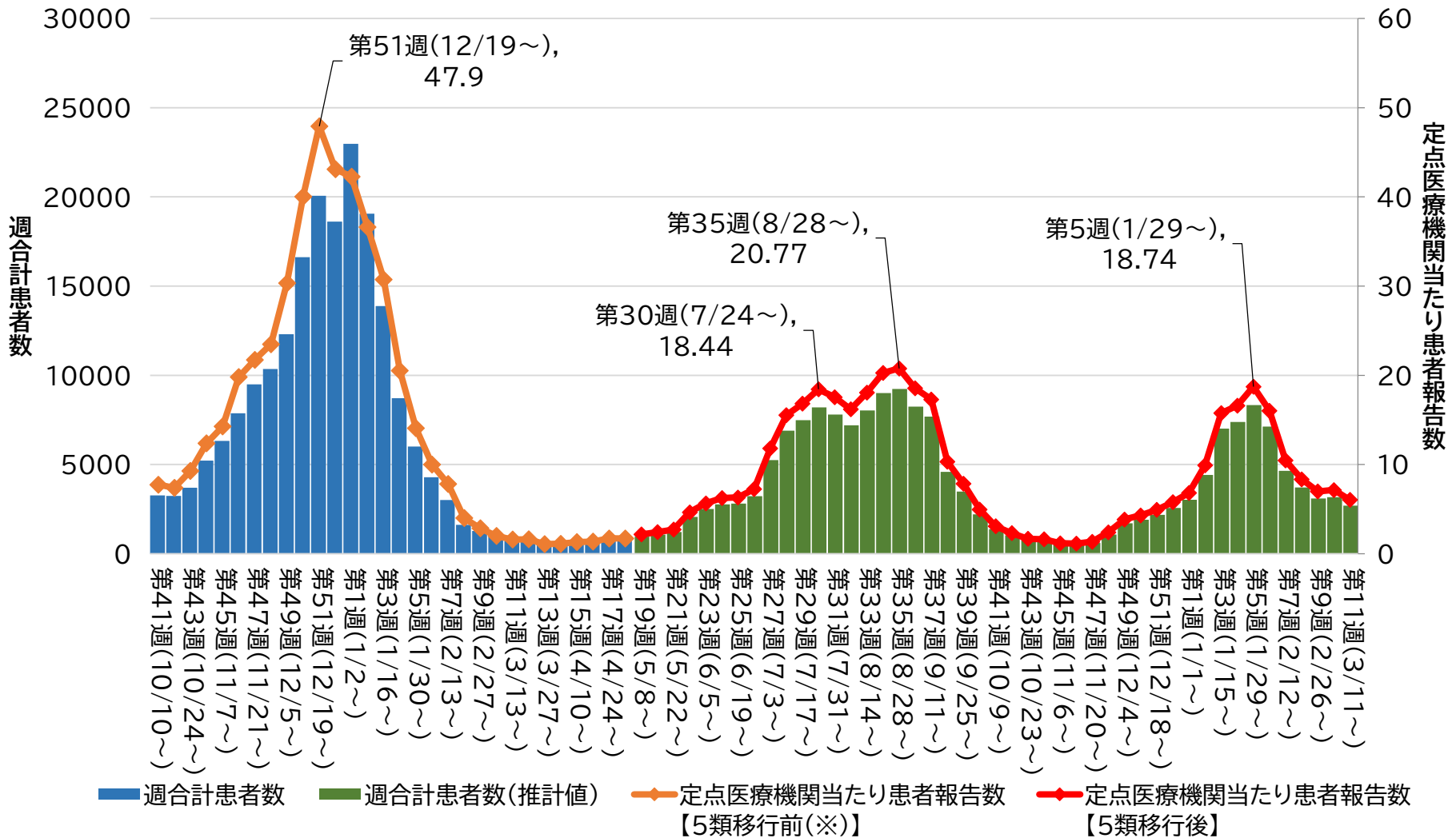


※IDWR速報データ（国立感染症研究所：<https://www.niid.go.jp/niid/ja/data.html>）及び厚生労働省発表資料（新型コロナウイルス感染症に関する報道発表（発生状況等）2023年6月～：[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431\\_00438.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00438.html)）

# 県内新型コロナウイルス感染症（COVID-19）定点当たり報告数推移

2023年第41週～2024年第11週（2023年10月3日～2024年3月17日）

- ◆ 全国同様、夏（7～8月）及び冬（12月～）に感染拡大しピーク到来。
- ◆ 5類移行前と比較すると、ピーク時の報告数は4割程度と推定される。



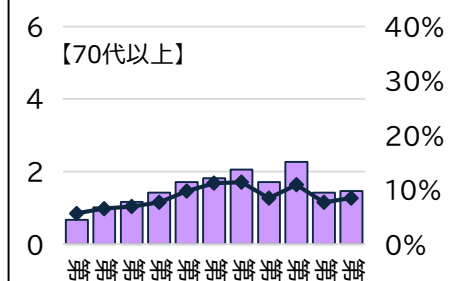
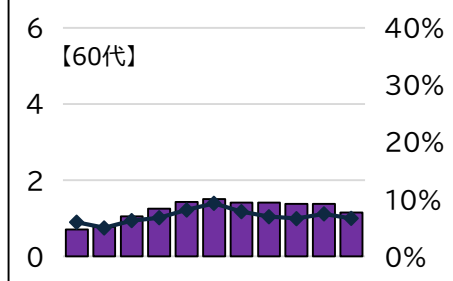
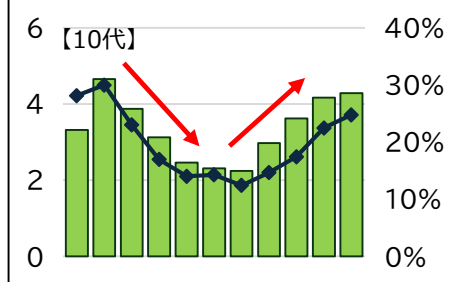
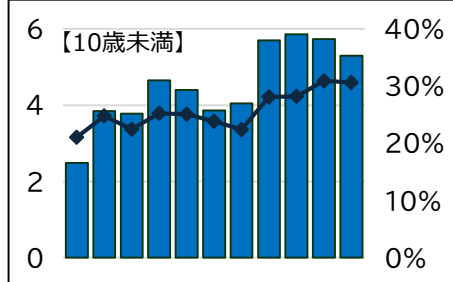
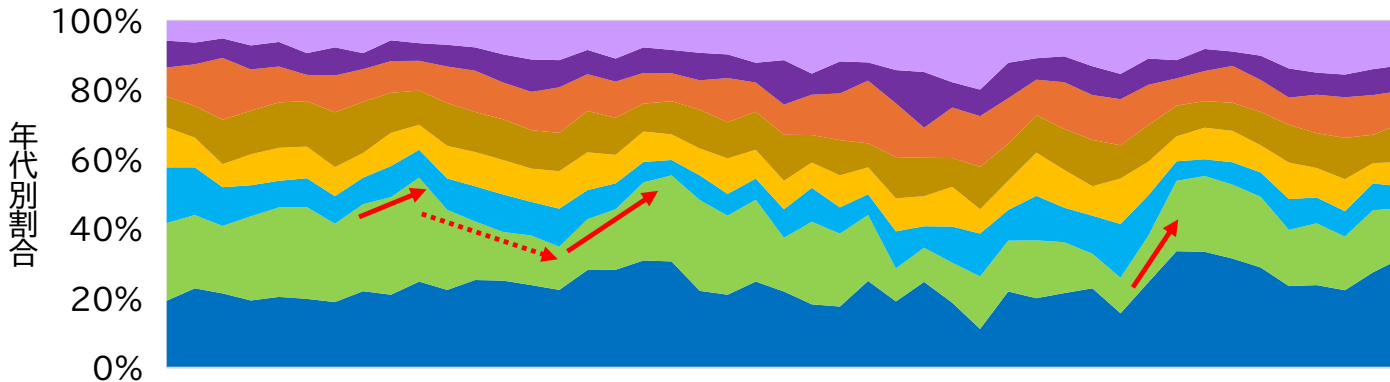
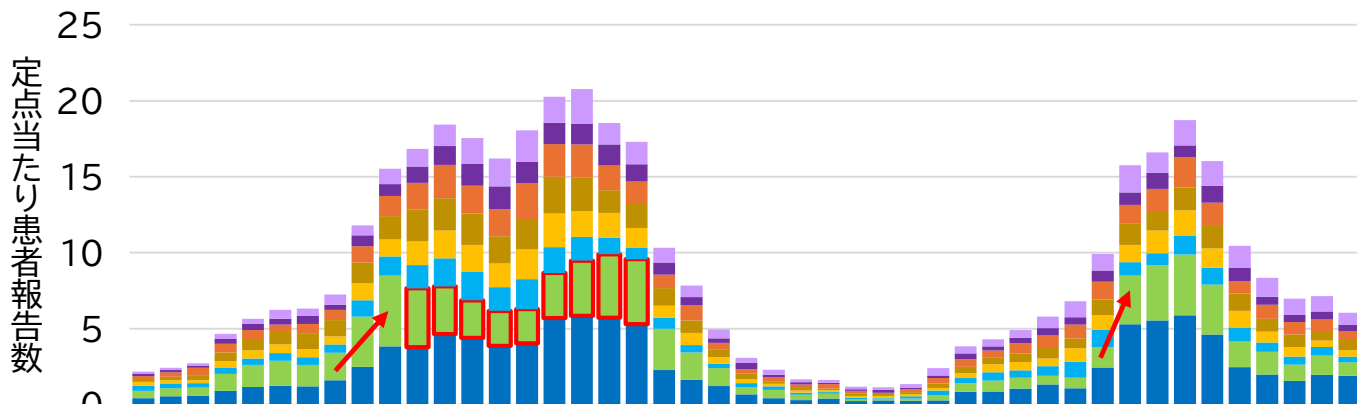
# 県内新型コロナウイルス感染症（COVID-19）定点当たり報告数推移（年代別）

2023年第19週～2024年第11週（2023年5月8日～2024年3月17日）

- ◆ 感染拡大時には、10代以下の報告数の増加がみられる。
- ◆ 夏場は10代の報告数が一時的に減少し二峰性の流行曲線となった。

➢ 27週～37週における年代ごとの定点当たり報告数（棒グラフ）及び全年齢に占める割合（折れ線）

【年代別報告数推移】

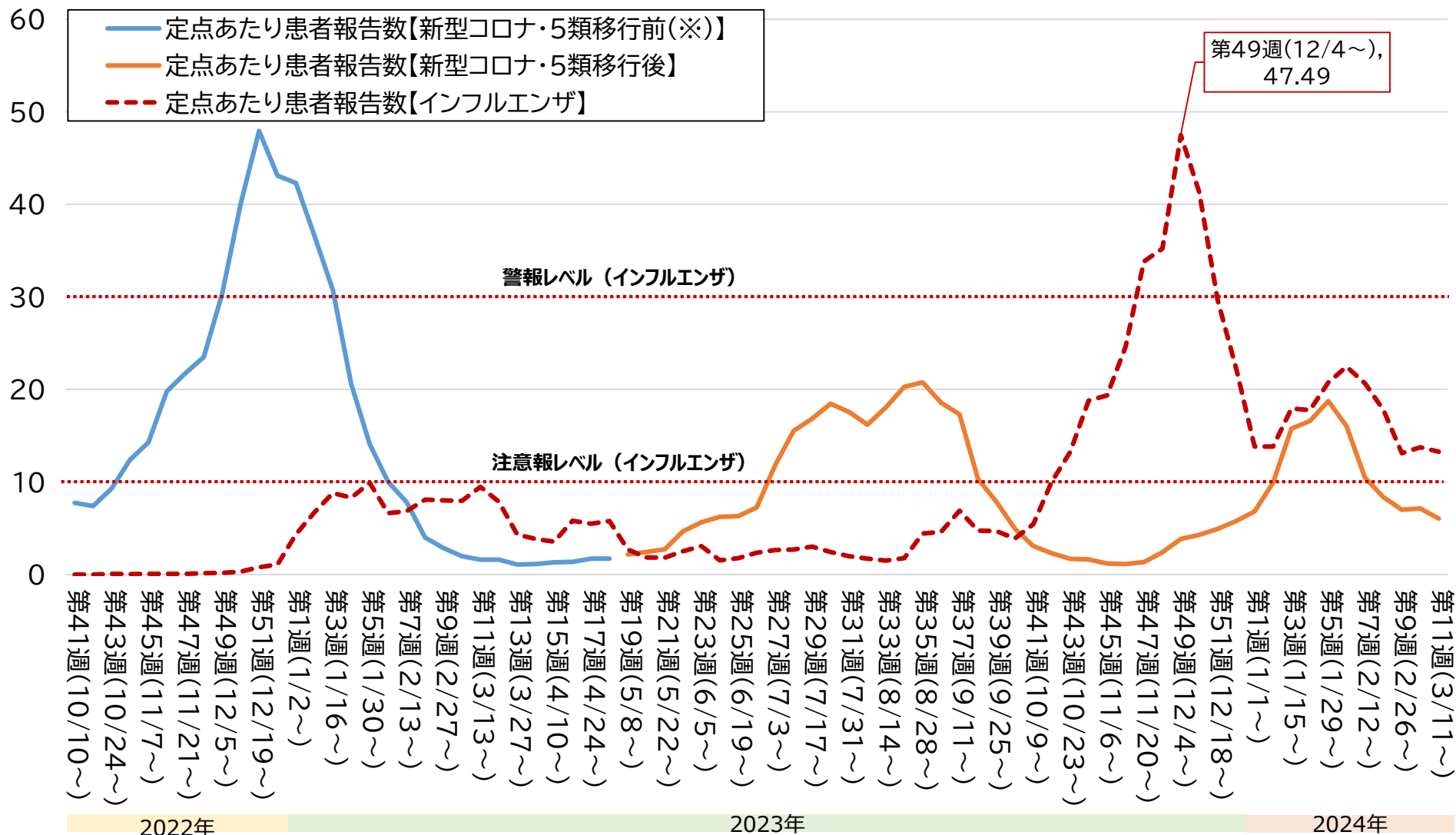


■ 10歳未満 ■ 10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代以上

# 県内新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ 定点当たり患者報告数の推移

2022年第41週～2024年第11週（2022年10月3日～2024年3月17日）

- ◆ 新型コロナの流行が落ち着いた秋以降、インフルエンザの感染拡大が見られ5シーズンぶりに警報レベルを超えた。
- ◆ 12月下旬以降、インフルエンザ報告数の減少と共に新型コロナの報告数の増加が見られたが、インフルエンザ報告数を超えることなく推移。

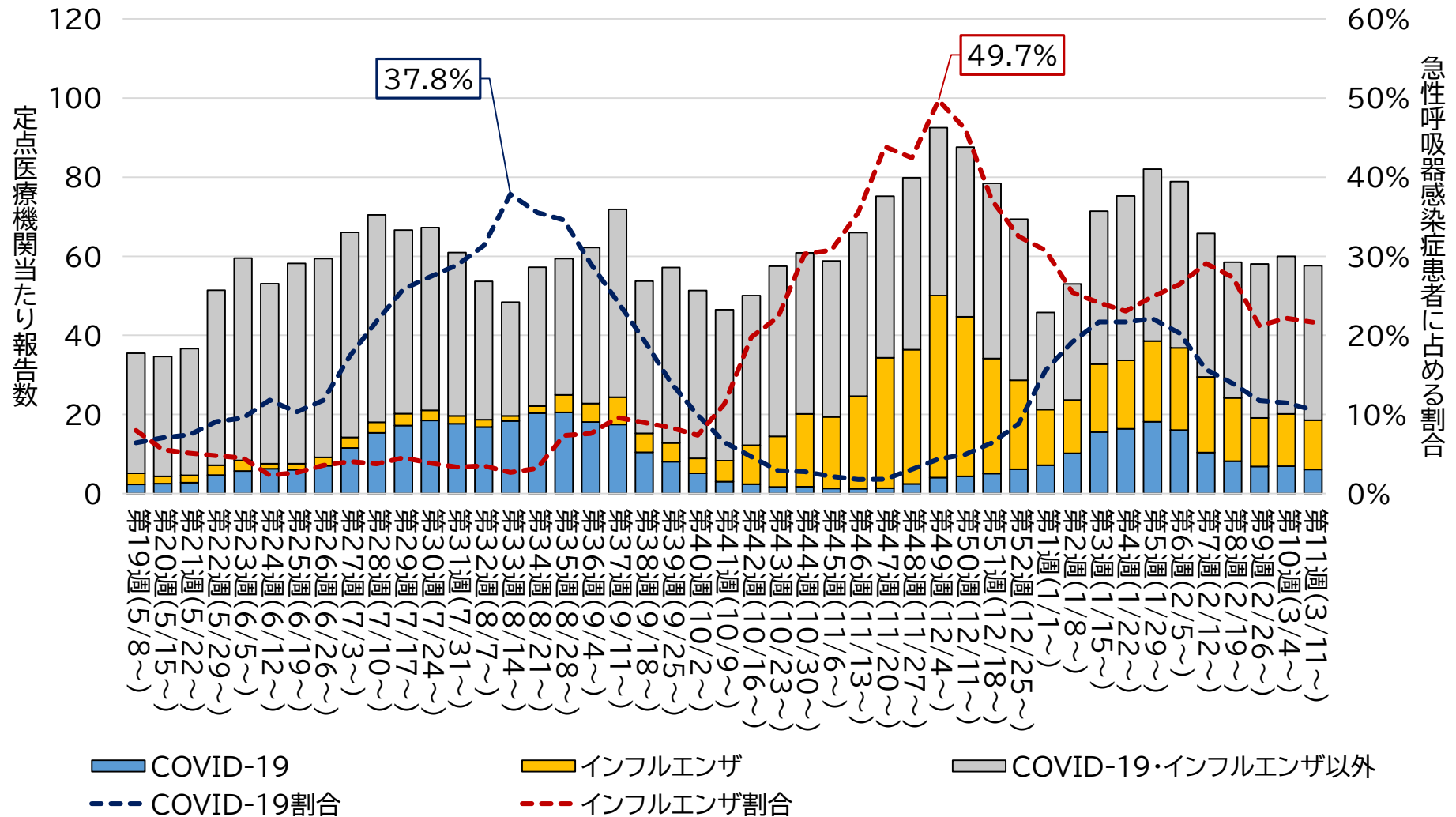


※ 5類移行前の定点当たり患者報告数は、各医療機関から報告があった発生届から定点医療機関分を抽出して算出（診断日ベース）しています。

# 急性呼吸器感染症サーベイランス（※）（定点当たり報告数と割合）

2023年第19週～2024年第11週（2023年5月8日～2024年3月17日）

- ◆ 夏の感染拡大時には、急性呼吸器感染症と診断された患者のうち約4割がCOVID-19であった。
- ◆ 秋以降については、12月上旬にインフルエンザが約5割を占めていたが、1月にはインフルエンザとCOVID-19割合が拮抗し、2月以降再びインフルエンザの割合が優位になっている。

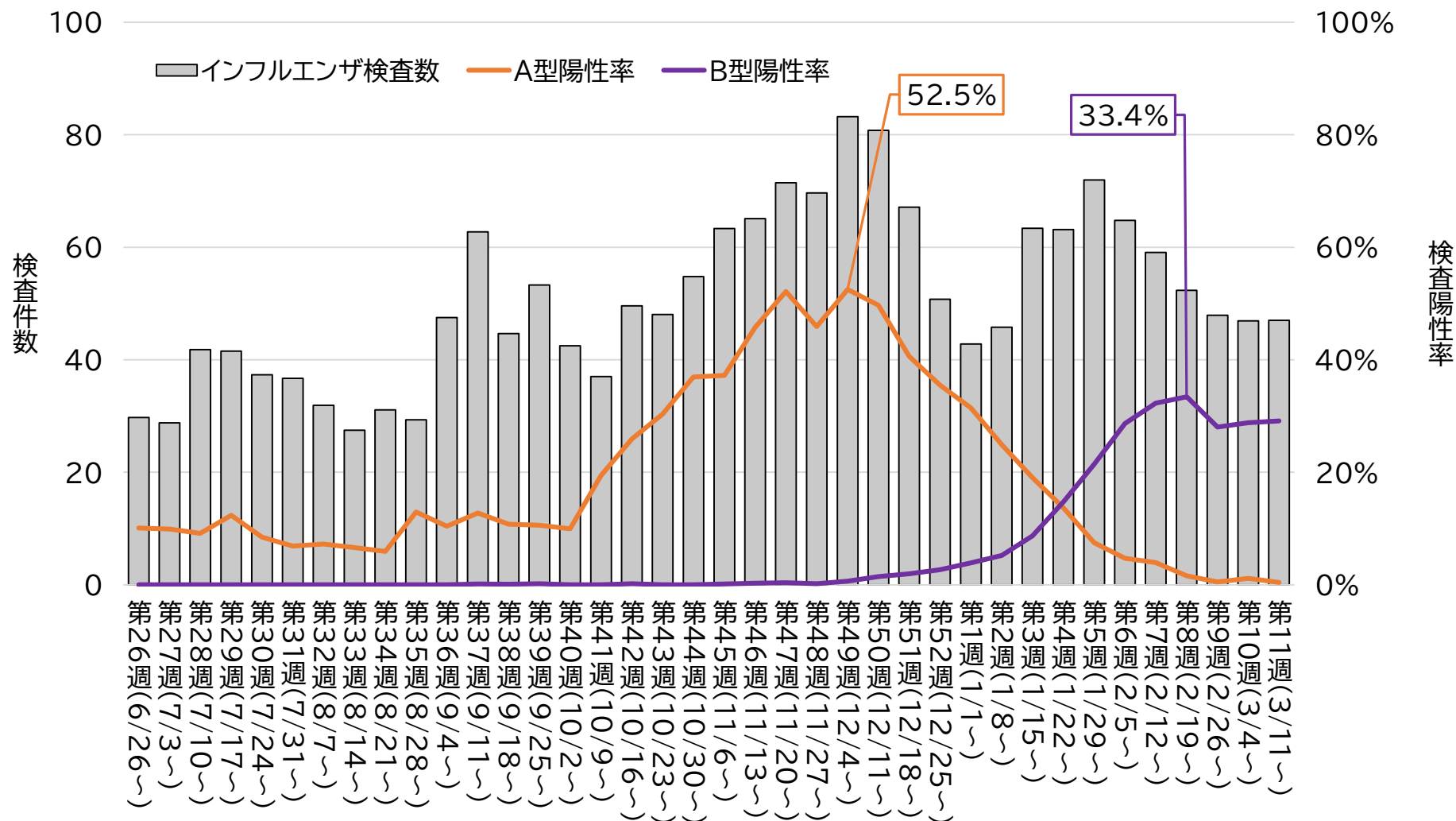


※ インフルエンザ/COVID-19定点のうち、御協力いただいている医療機関から三重県独自サーベイランスとして、急性呼吸器感染症として診断した患者数（インフルエンザ、COVID-19を含む）及び検査数（インフルエンザ、COVID-19）を報告していただき集計している。

# 【参考】急性呼吸器感染症サーベイランス（※）（インフルエンザ検査数と陽性率）

2023年第26週～2024年第11週（2023年6月26日～2024年3月17日）

- ◆ 秋以降、検査数が増加し、12月上旬にはA型陽性率が50%を超える状況となった。
- ◆ 1月以降は、B型が優位となり、陽性率は30%を超えた。



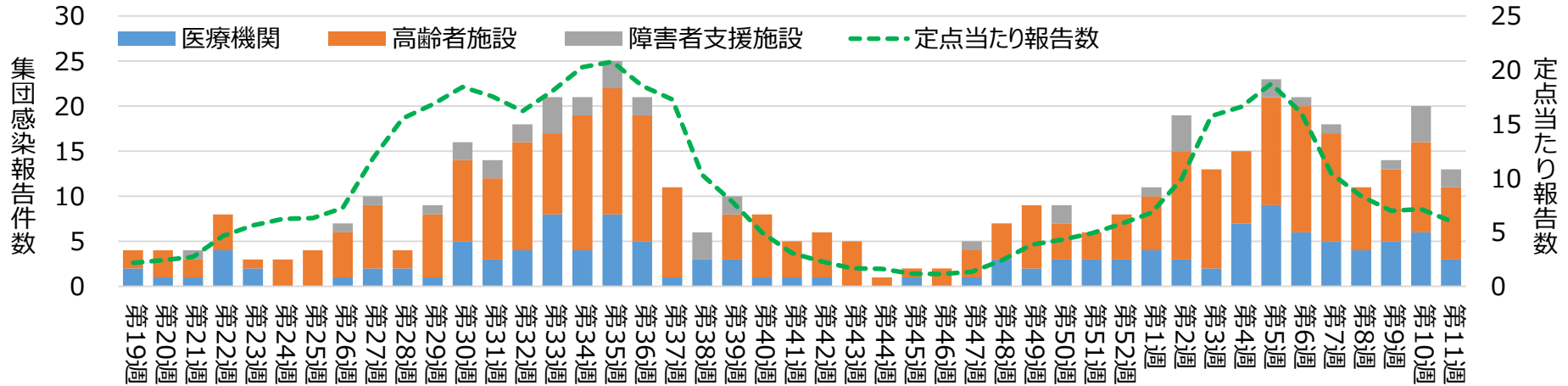
※ インフルエンザ/COVID-19定点のうち、御協力いただいている医療機関から三重県独自サーベイランスとして、急性呼吸器感染症として診断した患者数（インフルエンザ、COVID-19を含む）及び検査数（インフルエンザ、COVID-19）を報告していただき集計している。

# 県内新型コロナウイルス感染症（COVID-19）集団感染事例報告状況

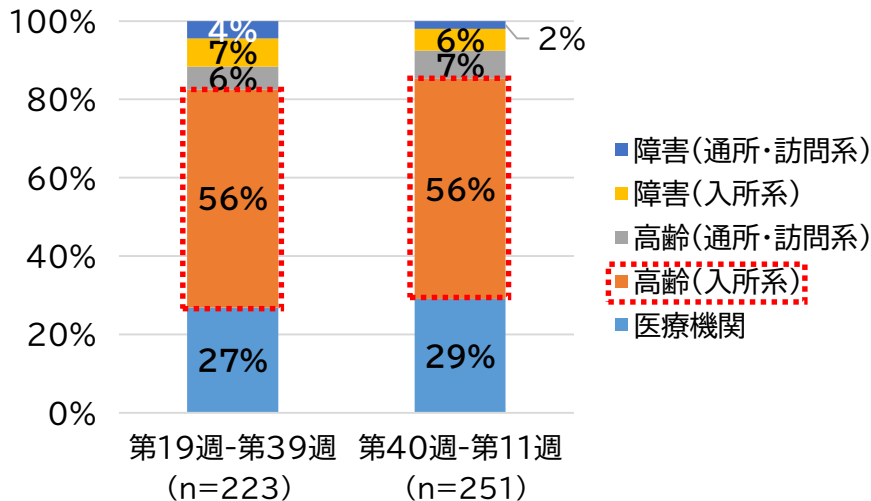
2023年第19週～2024年第11週（2023年5月8日～2024年3月17日）

- ◆ 集団感染の発生件数の推移は、定点報告の推移と同様の傾向が見られる。
- ◆ 施設種別割合は、入所系高齢者施設が最も高く、医療機関と合わせると全体の約80%を占める。
- ◆ 発生規模別では、約80%は30人未満の事例だが、精神科病院や老健、特養では50人以上の事例が発生している。

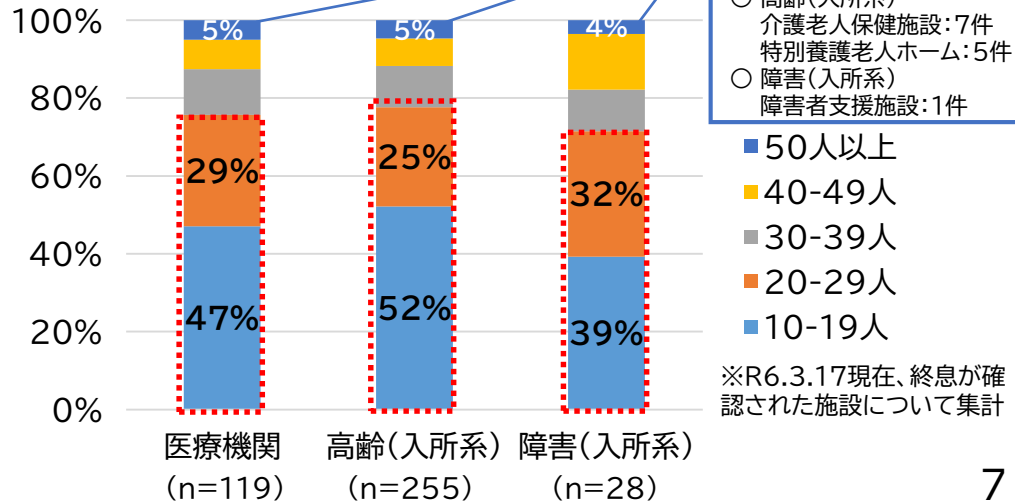
【集団感染発生状況】



【施設種別割合】



【発生規模別割合※】



※50人以上発生した事例  
 ○ 医療機関  
 精神科病棟: 6件  
 ○ 高齢(入所系)  
 介護老人保健施設: 7件  
 特別養護老人ホーム: 5件  
 ○ 障害(入所系)  
 障害者支援施設: 1件

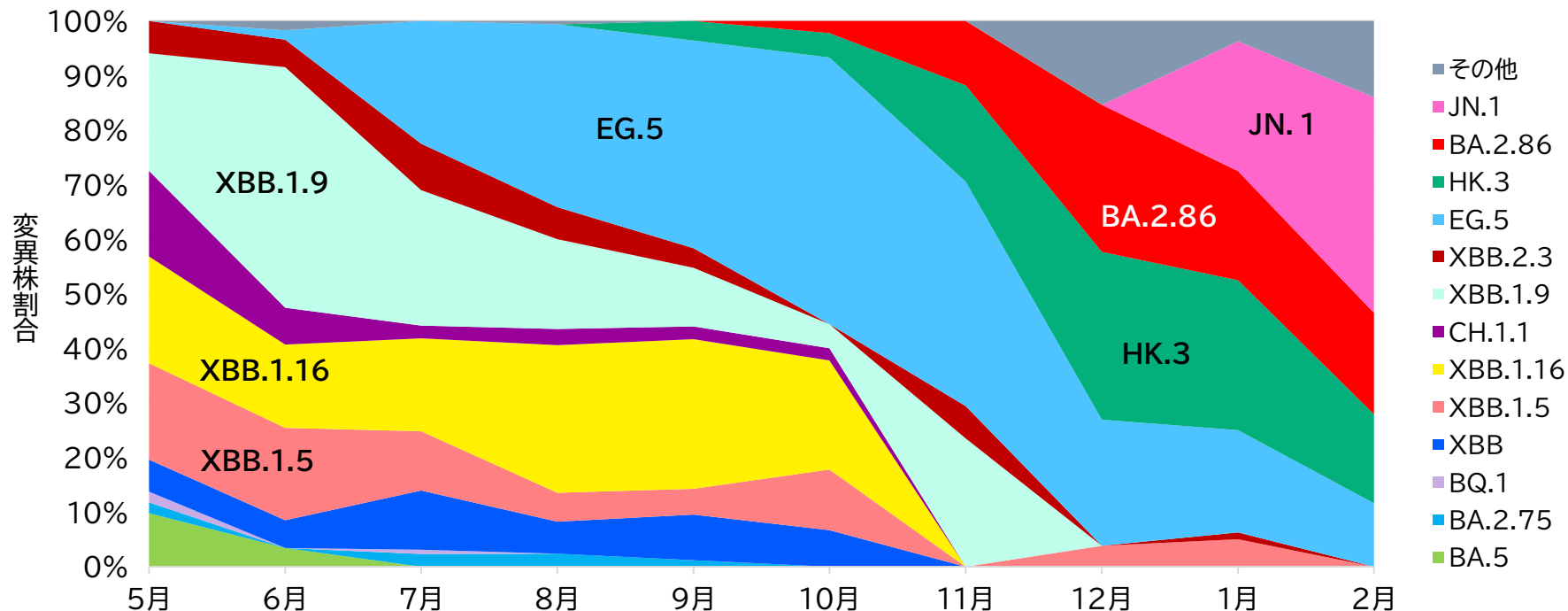
※R6.3.17現在、終息が確認された施設について集計



# 県内新型コロナウイルス感染症（COVID-19）ゲノム解析結果推移

2023年第19週～2024年第8週（2023年5月8日～2024年2月25日）

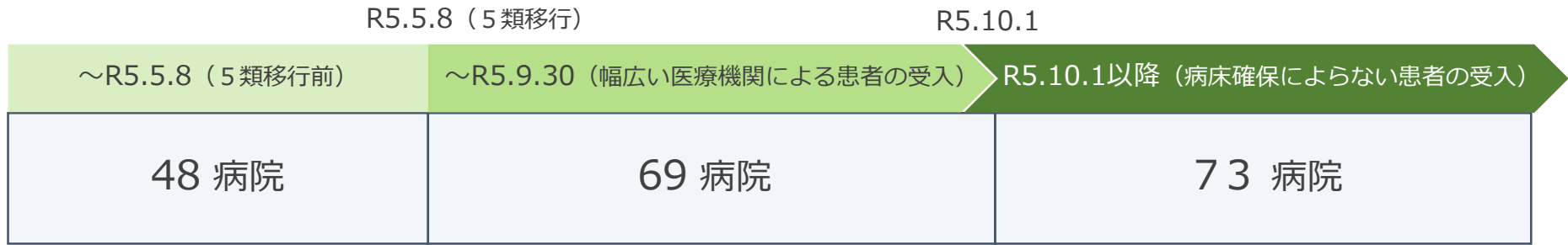
- ◆ 5類感染症移行直後は、XBB系統の割合が高い状況であったが、7月以降はEG.5系統の割合が増加
- ◆ 12月以降は、HK.3系統※やBA.2.86系統、1月以降は、JN.1系統の割合が増加している。 ※EG.5.1系統の亜系統



	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
BA.5	9.8%	3.4%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
BA.2.75	2.0%	0%	2.3%	2.4%	1.2%	0%	0%	0%	0%	0%
BQ.1	2.0%	0%	0.8%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
XBB	5.9%	5.1%	10.9%	5.9%	8.3%	6.7%	0%	0%	0%	0%
XBB.1.5	17.6%	16.9%	10.9%	5.3%	4.8%	11.1%	0%	3.8%	5.0%	0%
XBB.1.16	19.6%	15.3%	17.1%	27.1%	27.4%	20.0%	0%	0%	0%	0%
CH.1.1	15.7%	6.8%	2.3%	2.9%	2.4%	2.2%	0%	0%	0%	0%
XBB.1.9	21.6%	44.1%	24.8%	16.5%	10.7%	4.4%	23.5%	0%	0%	0%
XBB.2.3	5.9%	5.1%	8.5%	5.9%	3.6%	0%	5.9%	0%	1.3%	0%
EG.5	0%	1.7%	22.5%	33.5%	38.1%	48.9%	41.2%	23.1%	18.8%	11.6%
HK.3	0%	0%	0%	0%	3.6%	4.4%	17.6%	30.8%	27.5%	16.3%
BA.2.86	0%	0%	0%	0%	0%	2.2%	11.8%	26.9%	20.0%	18.6%
JN.1	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	23.8%	39.5%
その他	0%	1.7%	0%	0.6%	0%	0%	0%	15.4%	3.8%	14.0%

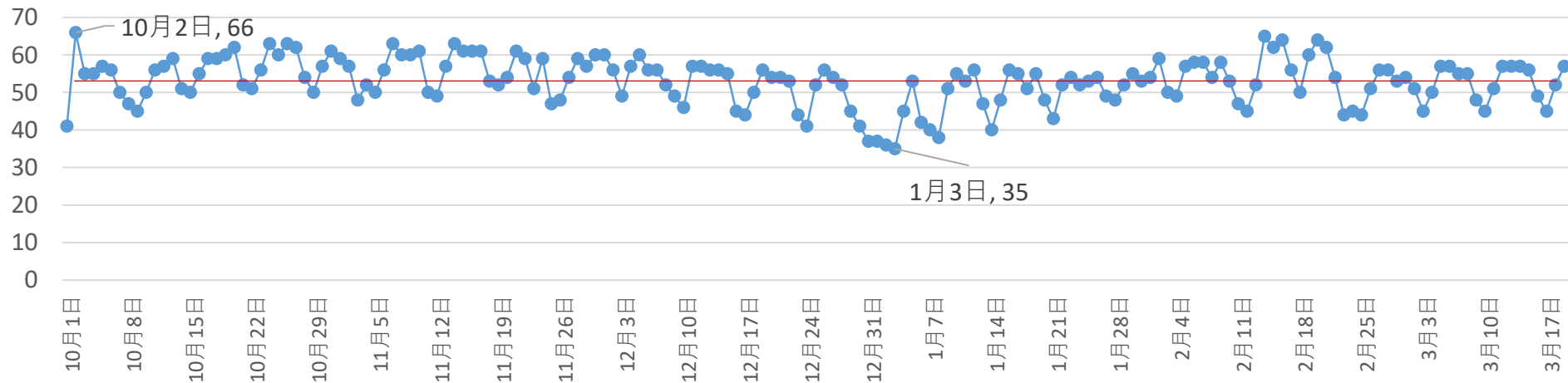
# 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）入院患者受入医療機関の数について

## 【5類移行後の受入医療機関数】



- ◆ 令和5年5月8日以降、移行計画に基づき、**幅広い医療機関による患者の受入の体制に移行**。
- ◆ 令和5年10月以降は、通常の医療体制への完全移行を見据えて、**病床確保によらない患者の受入を中心とする体制に移行し、日々の受入可否を把握**。

## 【令和5年10月以降の日々の受入可能医療機関数】 ※R5.10.1～R6.3.7



- ◆ 令和5年10月以降、**平均で約53医療機関において受入が可能**となっている。
- ◆ 地域別の状況としても、各地域において受入可能な体制が確保できており、**期間中に受入に支障が生じている地域はなかった**。

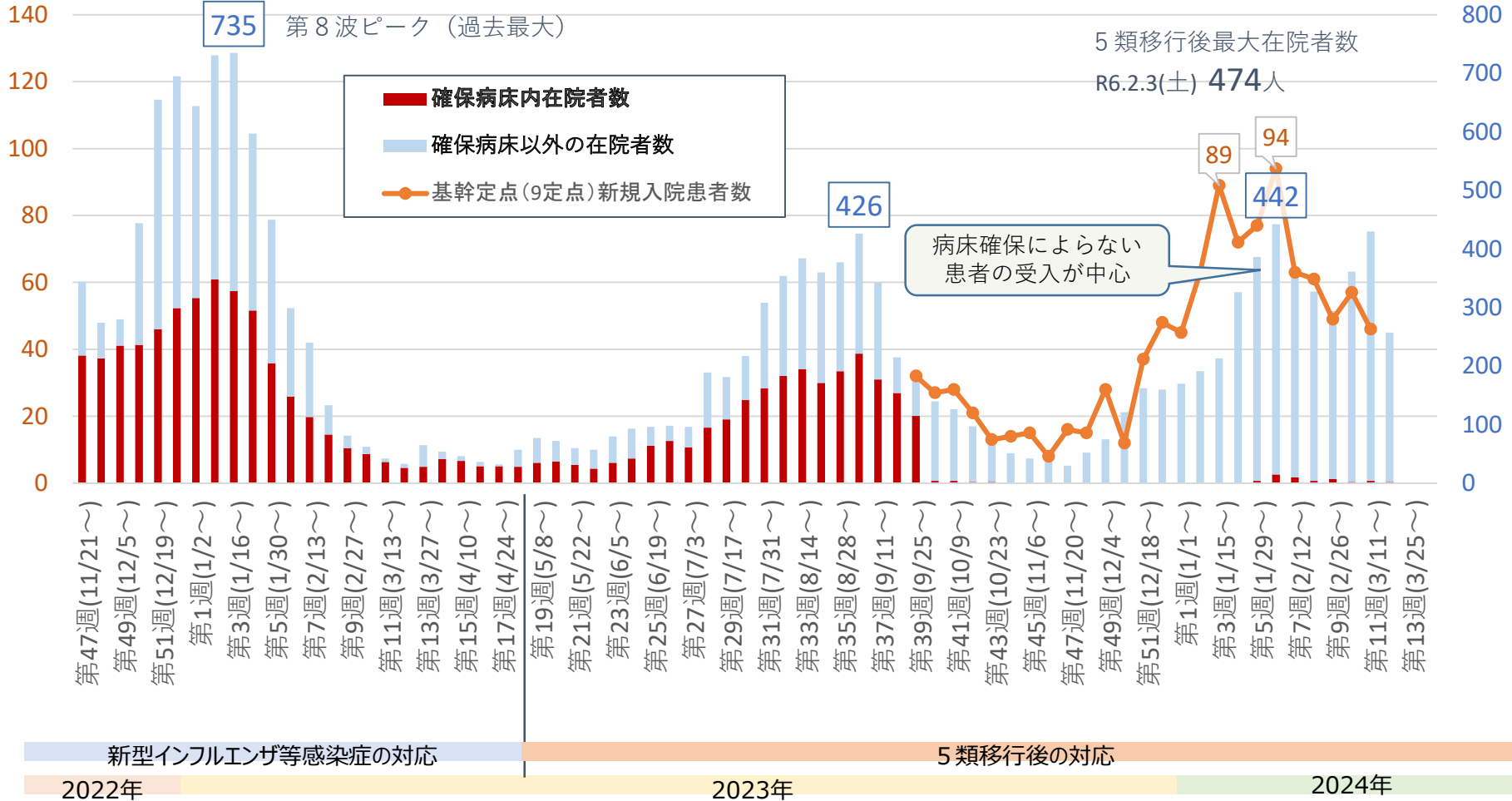
# 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）在院者数・定点当たり新規入院患者数

2023年第47週～2024年第9週（2023年11月21日～2024年3月17日）

- ◆ 令和5年5月8日の5類移行後、**医療機関間で入院調整が不調となり県が支援を行った案件は1件**（R5.8.9）
- ◆ 令和5年**10月以降は病床確保によらない患者の受入が中心**。5類移行後最大数の患者受入にも円滑に対応。
- ◆ **入院患者の定点報告**については、令和5年9月25日から実施。現時点までの報告では、県内全体の在院者数の傾向を一定把握ができていていると考えられるが、**年間を通じた分析はできていない状況**。

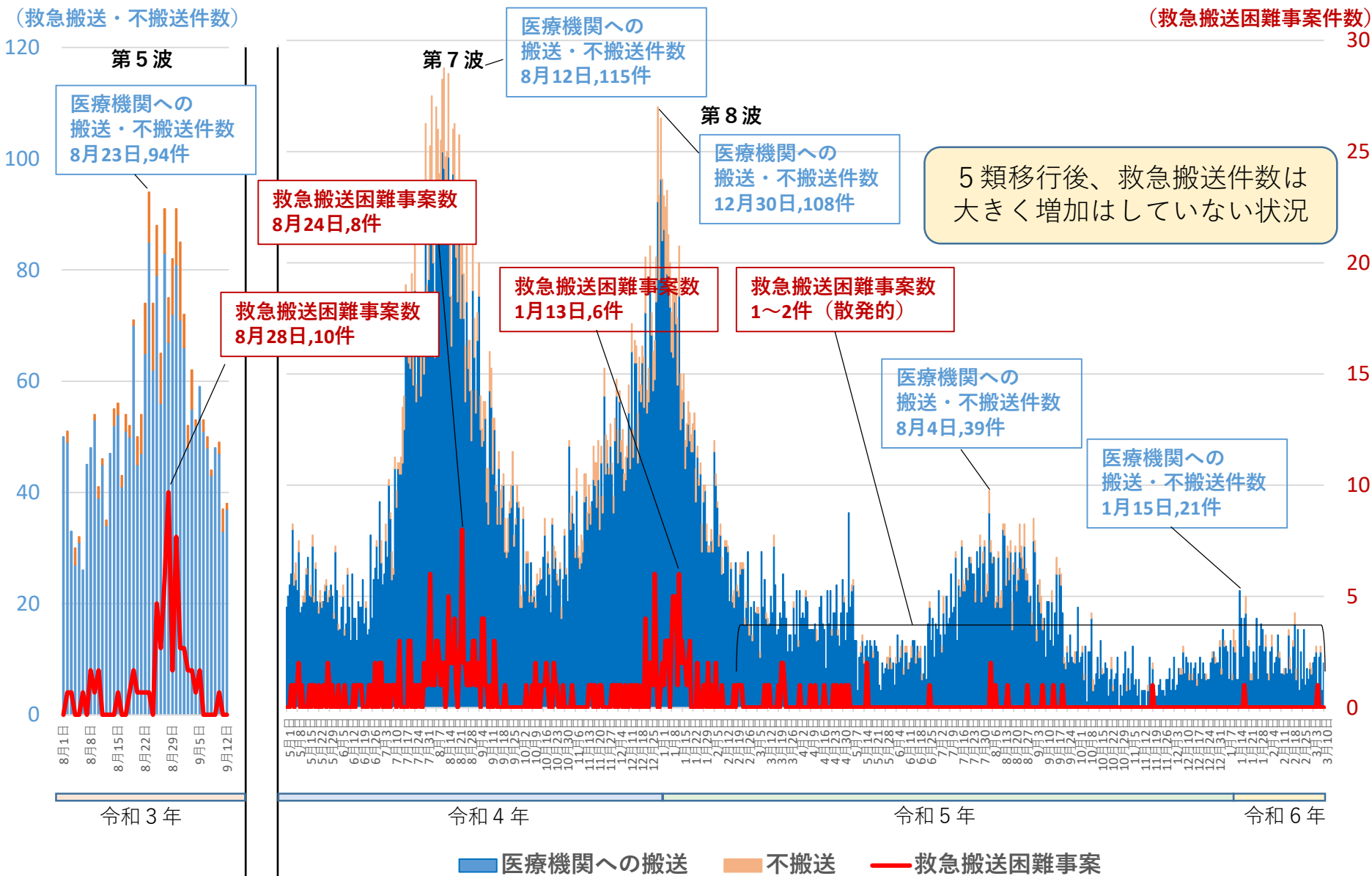
(新規入院患者数)

(在院者数)



※ 在院者数については、厚生労働省「療養状況等及び入院患者受入病床数等に関する調査について」による水曜日時点の在院者数。

# コロナ・コロナ疑い患者の救急搬送件数の推移 (R4.5.1~R6.3.17)



※ 救急搬送困難事案：受入照会回数4回（4回目で搬送先医療機関が決定した事案）以上かつ現場到着から現場出発までの時間が30分以上の事案